

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙 「みらい」
NO. 3620
16年1月19(火)
Fax 095-828-1953

強欲と平和は 相容れない!

おはようございます。

今年はその年。猿でいうと、徳川家康の霊廟・日光東照宮の「見える、聞かざる、言わざる」の三猿が有名だ。意味は、徳川幕府が、農民に不満を言わずに働け!とか。

この三猿の語源は「論語」だが、紀元前五百年、当時の中国・周の国の思想家「孔子」の教えをまとめたものだ。



論語(儒教)は七世紀ごろ日本に伝わる。一説には唐への留学僧の最澄(天台宗の開祖)が持ち帰り、天台宗の教

あるとき孔子の高弟の顔淵が孔子に「仁」とはなにかと聞く。孔子は、利己を抑え、社会の規範(礼)に立つと世の中の人々はそれを見習って忘れていた仁(人の道)を實踐するだろう」と答える。顔淵は「その実践とは」と再度聞く。孔子は「規範(礼)でないもの、それを見るな、聴くな、言つな、行つな」と答えた。(講談社学術文庫「論語」から)

学問を志す者は、礼(規範)を大切にしたい。それを欠くべきではないとす。だから農民たちは幕府に從順であれ、という意味ではない。

えとして広まったともされるが、それから支配階層(天皇や公家)の学問となり、また江戸時代には、幕府の官学として武士階級の間にも広まる。

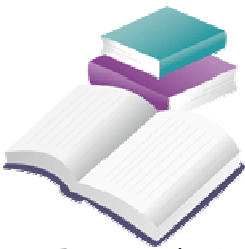
江戸中期、この儒学から派生する朱子学から国学派が生まれ、その祖・佐藤一斎の「言誌四録」は、国学派のバイブルでもある。以前、小泉首相が国会で演説した、三学の戒「少にして学べば、すなわち壮にして為すことあり、学べば人は朽ちない」で有名となった。

ではこの佐藤はいつたに学んだのか。それはのちに官学(儒学と朱子学)を教えた昌平学問所(今の東大へつながら)の塾頭であった林羅山である。またこの林は、当時の公家・藤原惺窩(せいがか)「近世儒学の祖」に学んでいる。ではこの藤原はだれに学んだのか。

一五九七年、豊臣秀吉の朝鮮出兵で、四国・伊予の大名だった藤堂高虎が、朝鮮で捕えた「姜沆(かんはん)」を日本に連れ帰る。学者の姜沆は京の伏見へ送られ、そこで多くに朱子学を教える。この弟子の一人が藤原である。徳川家康はこの藤原から朱

子学の講義を受け、彼に幕府への出仕を命じたが、藤原は高年齢で、代わりに自分の門弟の林羅山を江戸へ送る。以降林家が代々で幕府の儒官となる。(佐賀県鎮西町編集の「大公秀吉と名護屋城」から)

この林家から佐藤一斎らが儒教(朱子学)を学び、その弟子の佐久間象山からそのまた弟子の吉田松陰へとつながら、明治維新の高杉晋作、木戸孝允と流れ、国学となる。



明治で大陸侵攻の思想(排外主義)と富国強兵「戦争の時代となり、一九四五年の敗戦で、占領軍の支配を受ける。これは日本史のなかでもただ一度だけで、それだけ国学思想の責任は重いのだ。

現在の日本の右翼・保守派は、国学こそ日本の原点であるとする。昨年、吉田松陰から三島由紀夫(自衛隊基地に侵入し、軍事クーデターを呼びかけた)へ、さらには安倍晋三へとつながるという本を出しているが、その根は、さかのぼれば朱子学を伝えた朝鮮人の姜沆にあり、さらには中国の孔子・儒教に源流があり、とてもアジア蔑

視の排外主義とは異なる。

聖徳太子による日本初の七条憲法の第一条の「和をもつて貴しとなす」は、論語の



第一篇「学而」にある言葉(和為貴)の引用で、その後の日本は、遣唐使(日本仏教の祖の空海や最澄)らにより仏教や儒教・論語が日本に伝えられ、国家(官位制度)や学問ができていく。

しかし当時は封建時代。儒学も朱子学も権力支配を是とする御用学であり、またときの権力者も、自分たちに都合のいい文脈を学説として語り、支配の思想(忠義と仁、礼節)を作り上げた。

だが論語でも権力者を論ずる項もある。



あるとき大公が孔子に「盗賊(盗みや反乱)が多いことを憂えて対策を聞いた。孔子は「貴台が不欲(貪欲でないこと)であれば、たとえ盗みを誉めても、誰も盗みなどしまい」と大公を禁欲を諭した。

またあるとき、大公が「不

作で税収が少ない。どうしたらいいか」と孔子の高弟に聞かれた。高弟は「税率を下げろ」と答える。大公は「今でも困っているのに・・・」という。高弟は「民の生活が十分であればいいのである。大公はだれと十分になるというのか」と答えた。民の生活が第一の考えである。

先日、国会で安倍首相は、労働者の賃金が五十万円と、その妻がパートで二十五万円」と答え、野党から「パートの時給が一九〇〇円などどこにあるのか」と反論された。月に一〜二度、高い金のゴルフ三昧の安倍首相には、民の貧しさは理解の外なのだろう。

吉田松陰ばりの国士を気取る安倍首相だが、民の実態を見ない国学派など、一五〇〇年前の封建時代の儒教にも劣る思想と政治ではないか。

一〇世紀中の有名な心理学者のフロムは「強欲と平和は相容れない」と断したが、新自由主義という強欲資本主義の時代で、わずか一%の富裕層の利益を最優先するアベノミクスを、江戸時代の国学派の祖たちはどう見ているのだろうか。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員の正社員化を。

めどせ、均等待遇なくその差別!

ユニオンは労基法裁判に勝利するぞ!

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。

1集-山本, 2集-向井, 3集-山田, 郵便-高田, ゆうちょ銀-上筋, 東-松岡, 他支部・分会の役員へ。